



沖縄をこよなく愛し、沖縄のために余生を捧げる E. R. Bull 氏は90有余歳の高齢とはいえオハイオ州のニューワーク市に御健在だときく。

氏は、大正7年頃(1919)メソジスト教会九州・沖縄教区の宣教師として赴任し鹿児島市に本部を置き10有余年間布教、沖縄にもたびたび来島し中学生達に語学の指導をしたり、信者とともに信仰を通して沖縄研究に専念するなど非常に大きな功績を残している。

戦争が激化する頃、母国に引揚げて以来現在に至るまで過去の沖縄研究は、ひたむきに継続され沖縄に関する日本、文献の収集、独自の研究国際史上に果し得た役

ことは特筆されるべき  
また、氏の篤志によ  
た資料、(図書、文  
ム、スライド)など  
月6日時のブース高等

## 「Bull Collections」のス ライドに見る

### 戦前沖縄の風物誌

国、その他諸外国の文  
を發表するなど沖縄が  
割を高く評価している  
ものだと思う。

ってこれまで収集され  
献、マイクロファイル  
560 有余点を 1959年12  
弁務官が代理になって

琉大に寄贈され今日「Bull Collection」と称し現在も随時に資料の寄贈を受けコレクションに組込まれている。

氏の沖縄研究の分野は非常にバラエティーに富み宗教、言語、民俗、歴史などであるが特に1846年英国海軍宣教師ベツテルハイムについての研究は他の追従をゆるさないものがあり、ベツテルハイムの功績を顕彰する碑石を波之上護国寺境内に建立したのも氏の請願によるものであった。

このように、氏の沖縄に対する愛着は、このスライドの中からもうかがうことができる。

齣数にして80齣であるが、その内容は、古文化財的なものに一首里城正殿及び龍頭柱、守礼之門、歓会門、園比屋武御嶽、崇元寺、中城城跡一などがある。

宗教的な祭祀慣行は、当時の生活感情がにじみ出て結婚式、お嶽信仰、入墨、供物(いけにえ)、

墓所、祭礼の装飾やパレードなどは一宗教家の眼に訴えるものがあつたことは事実ではなからうか。

布教当時の那覇、首里、読谷山教会や、教会の幼稚園、日曜学校などの面影や安里の教会に対して那覇近郊の人々は「オランダヤー」と通称していたとBull氏は説明している。

その他、那覇の街の露路、Saddle pony (鞍をかけた小馬)、人馬車、人乗籠、斗牛風景、市場風景(陶器、漆器、野菜)、中流階級の家族などには、実にのんびりした平和な時代の面影がしのばれる。

しかし、このスライドにみる戦前沖縄の風物の面影が面影としてしか名残りをとどめないことは誠に惜しい限りである。

皆無といってよいこの風物が懐古的な興味で観られることよりも、むしろ当時の生活の一端を示す研究資料的な価値を一層高めてくれることを願わずにはいられない。

なお、スライドの解説書に「Lecture on the Loo choo Island, by Earl R, Bull」があり、またこのスライド目録を本紙に添えて紹介することにした。C

Bull氏寄贈のスライドには、別に日本、イタリア、フランス、アメリカなどの名所旧跡について約220齣に及んでいることを附記しておく。

### Introduction to the Lecture on the Loo Choo Island and Other pictures

made by Rv E, R, Bull

- |       |   |        |   |
|-------|---|--------|---|
| NO. 1 | Inland Sea, Japan (日本の内海)   | NO. 14 | sugar mill in Loo chooan village<br>(製糖舎の風景)                  |
| " 2   | "Far East" The hand pointing to<br>the Cener of the Loo choo group<br>(// 東アジア // 琉球列島) | " 15   | Loo chooan Lacquer shop. (漆器店<br>舗)                           |
| " 3   | Narrow sreet in Naha (那覇の露路)  | " 16   | Vats for blaeching Adamba or<br>screw—pine. (アダン漂白樽と攪は<br>ん器) |
| " 4   | middle class Loo Chooan Family<br>(中流階級の家族)   | " 17   | Pottery market (陶器のマーケット)                                     |
| " 5   | Nakagushiku Castle (中城城跡)   | " 18   | Shochu jars in Distillery. (泡盛醸<br>造所の甕)                      |
| " 6   | Gate into Castle grounds, shuri<br>(守礼之門)   | " 19   | Country village market. Daikon<br>(田舎の野菜市場)                   |
| " 7   | Welcome gate into old palace,<br>Shuri (歓会之門)   | " 20   | Saccificial offerings—goat and pig<br>(いけにえ供物—山羊と豚)           |
| " 8   | Stone Dragon at Foot of steps of<br>old palace (首里城正殿の龍頭柱)                              | NO. 21 | Woman operdting pile—drvier.<br>(婦人の家屋建築基礎工事作業)               |
| NO. 9 | Garden of the village of the Former<br>Loo chooan king (王家別邸の庭園)                        | " 22   | Tattoo—marks on the hands of Loo<br>chooan woman (婦人の入墨)      |
| " 10  | Temple of Sogenji (崇元寺)   | " 23   | Woman worshipping beforea Tomb.<br>(墓参の婦人)                    |
| " 11  | Loo chooan bride and veil (花嫁の<br>ベール)  | " 24   | New Loo chooan Tomb. (新しい墓)                                   |
| " 12  | Bridegroom on wedding Hobley—<br>horse (木馬に乗る花婿)  | " 25   | Ancient Tomb showing hole in Door<br>for spirit (古い墓のドア—)     |
| " 13  | Ceremonial utensils Used at Loo<br>choo wedding (結婚式に使用する儀<br>式道具)                      | " 26   | Burial Jar (埋葬甕)  |

- NO. 27 Tomb of famous Loo chooan poet  
Noguni—imo (いもの恩人野国の墓)
- " 28 Women worshipping at shrine (園  
比屋武御嶽を信仰する婦人)
- " 29 Women worshipping under sacred  
Tree (聖樹を信仰する婦人)
- " 30 Graned of American sialors near  
Naha (那覇近郊のアメリカ人墓地)
- " 31 Festival parade (祭礼のパレード)
- " 32 Parade—Annual festival (パレード  
—恒例祭)
- " 33 festival procession Crossing Bridge  
(祭礼の行列)
- " 34 Professionanal woman Entertainers  
(宴席の芸人)
- " 35 festival Decorations, Naha (祭礼の  
装飾、那覇)
- " 36 The start of the boat Race (ハーリ  
ー)
- " 37 Platform for the atrical performances  
(演劇の舞台)
- " 38 Bull—fight (斗牛風景)
- " 39 professional Snake—Catchers  
(蛇取り名人)
- " 40 Country home in Yayeyama (八重  
山の山村家屋)
- " 41 Rev. H. B. Schwartz in Japanese  
costume (スチアード牧師の日本風の  
生活)
- " 42 Entarnce te coal mine (炭礦の入口)
- " 43 mission house at Asato, Front view  
(安里の教会、前景)
- No. 44 Side view of mission house at Asato  
(安里の教会 側景)
- " 45 Sunday school Children with  
American Dolls (アメリカ人形をも  
つ日曜学校の児童)
- " 46 Village church Yontanzan  
(methodist) (読谷山教会)
- " 47 Village bell at M. E. chapal <sup>鐘</sup>  
Kametsu (カメツ礼拝堂の梵鐘)
- " 48 Interior of church, shuri (首里教会  
の内部)
- " 49 members of Shuri church in garden  
(methodist) (首里教会庭園での信  
者達)
- " 50 Baptist kindergartcn in Naha  
(那覇のパプテスト幼稚園生)
- " 51 palanquins (人乗籠)
- " 52 Transporting pigs in Okinawa (子  
豚を運ぶ婦人)
- NO. 53 Baptist Church, Naha (パプテスト  
教会)
- " 54 Three criminals—Boarding a train  
(囚人輸送)
- " 55 Hananda Natural Bridge, Gushichan  
(具志頭の自然橋)
- " 56 Professional sanke-Catchers (蛇取り  
名人)
- " 57 Loo chooan woman (琉球婦人)
- " 58 Castle of the Loo chooan king (首  
里城正殿)
- " 59 Ride in a Basha (人馬車)
- " 60 New Loo chooan Tomb (新しい墓)
- " 61 Bath tub in the yard (露天風呂)
- " 62 Kindergarten slide (幼稚園)
- " 63 map of Japan and Loo choo (日本  
と沖縄の地図)
- " 64 Country village market, Daikon  
(野菜市場)
- " 65 Pottery market (陶器のマーケット)
- " 66 narrow steet in Naha (那覇の露路)
- " 67 Sugar mill in Loo chooan village  
(製糖風景) <sup>工</sup>
- " 68 Loo chooan Lacguer shop (漆器店  
舗)
- " 69 Country home in yayeyama (八重  
山の山村)
- " 70 Loo chooan farmer and Saddle pony  
(農夫と小馬)
- " 71 The start of the boat Race (ハーリ  
ー)
- " 72 woman Operating pile driver (家屋  
建築風景)
- " 73 Stone Dragon at foot of stepe of  
old paldce (首里城正殿の龍頭柱)
- " 74 Welcome gate into Old palace,  
Shuri (歓会之門)
- " 75 Entrance gate, Shuri When perry  
arrived (ペリー来島当時の守礼之門)
- " 76 Nakagushiku Castle (中城城跡)
- " 77 Sacrificial offerings-goat and pig  
(供物—山羊と豚)
- " 78 Woman worshipping under  
sacred trec (聖樹を信仰する婦人)
- " 79 Village Church, Yontanzan (読谷山  
教会)
- " 80 Village bell at M, E, chapel  
Kametsu, Tokunoshima (カメツ礼  
拝堂の梵鐘) <sup>金鐘</sup>
- 印は重複スライトを示す。

## 図 書 館 事 情

### <図書館の開館時間>

大学は10月4日から後期に入るが、図書館は従前通りの下記の開館時間を実施する。

なお夜間開館は5日からとなっている。

月曜日～金曜日 8:30～21:00

土曜日 8:30～16:00

ただし木曜日は都合により17:00までの場合があるので掲示に注意されたい。

### <職員の移動>

図書館では新職員の採用を機にづぎのように館内の人事移動を行なった。

池原 幸子 整理係から閲覧係へ

比嘉 泰子 閲覧係から整理係へ

金城 清 閲覧係の雑誌担当へ

### <新入職員の研修>

新入職員に対して公務員服務規定、図書館一般などを含む実務を中心とした図書の選択、発注、受入、図書の分類、目録、閲覧業務などについて51時間にわたって研修を実施した。

### <新図書館建設についての答申>

図書館建設研究委員会は1964年11月25日学長から(1)学生収容定員4,000名としての図書館の規模及び建設場所について、(2)平面計画についての、諮問をうけ研究を続けていたが、このほど中間答申を行った。詳細は次号に掲載の予定である。

### <図書館年報—1967年—>

図書館では業務報告を年報としてまとめているがこのほど1967年度の年報を刊行した。図書館の業務を解説し、統計資料を盛りこんだもので、図書館の活動はもとより現況が概観できるようになっている。

琉球大学附属図書館報「びぶりお」VOL.1 No.2 1967年9月30日発行

編集兼発行人 平良 恵仁 琉球大学附属図書館発行

沖縄那覇市当麻町3丁目1番地 電代表 (9)3101 内線 240